

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月31日

事業所名: ていんがーらからはーい

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2	職員の配置数は適切である	4				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1		3	・児童が分かりやすい環境への配慮を意識して行っている。	・バリアフリーでは無いが、必要に応じ、段差等のバリアが無い状況にもっていけるようにしている。(児の状態に合わせて)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2	1	・新規契約児は特に、ミーティング際に細かく状況の確認をし、職員各人の視点から確認される児童をアセスメントしている。	・標準化されたアセスメントツールの使用はまだ無いが、BWAP2等、既存のアセスメントツールを用いて「児童のその時の発達段階」に応じた活用ができるようにしていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	1		・ガイドラインの総則の基本活動を踏襲しているが、児童ごと、家庭ごとのニーズに合わせた活動にも重きを置いて活動を組み合わせている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	0			※現在、医療的ケア児の受け入れが無いため、 対応は無いが、利用となった場合はしっかりと対 応できるようにしていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2		2	・児童、家庭のニ ーズに沿った研修等 があれば積極的に 全職員で参加でき るようにしている。	・専門機関の情報をもっと収集していき、有機的 な繋がりが持てるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	2		・公園や外出先等 で、事業所外の児 童と関われるよう にサポートしてい っている。	・児童館、学童との交流は無いが、機会をみて 行っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3		1	・ペアレントプロ グラムの講師研修 を終えた職員が数名 いる。 ・事業所内研修等 でペアレントプロ グラムの視点を踏 まえて支援、関り を検討している。	・保護者に向けたペアレントプログラムを実施し ていきたい。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4	0			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	1	2	・保護者が集まれ る行事を開催して いく。 ・保護者が集まっ てる場の紹介を行	・ニーズを確認しながら、支援を行っていき たい。 ・保護者が集まれる行事をもっと多く開催して きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	2	2		・SNS、電話等を活 用しタイムリーにや り取りができる連絡 体制を整えている。	・会報やホームページ掲載等で写真等を活用し た活動の様子を共有できるようにしていきたい。 (写真掲載に関する個人情報の使用についても 最大限慎重に行わなければならない為、準備を 整えていく)
	35	個人情報に十分注意している	4				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		・自立支援協議会へ積極的に参加し「地域との繋がり方」の方法を模索していった。	・地域からのニーズ、家庭、児童のニーズ等を照らし合わせながら、どのような形で「開かれた事業運営」が図れるか模索していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1		3	・契約時にしっかり確認し、対応している。	・医師の指示書の確認を要する場合には、しっかりと指示書の確認し、マニュアル等の策定を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				